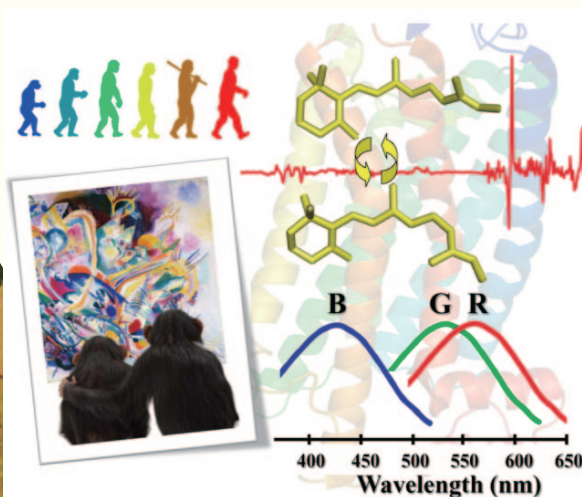


特別講演

光といのちの化学

自然界の不思議を解き明かすべく
タンパク質のしくみを光によって解明する



生物は光をどのように利用しているか？

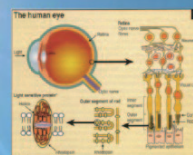
神取研究室

光はいのちの源
Light is mother of life



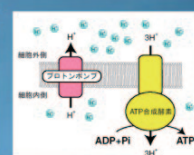
最先端バイオテクノロジー

光は生物の中で情報やエネルギーになる。
ロドプシンは光を捉える膜タンパク質



高等動物のロドプシン
視覚のセンサー

→ 医療



微生物のロドプシン
イオンポンプ

→ エネルギー

生命現象の不思議を光を使って解明する

☆ヒトはどうやって色を見分けているの？

☆濃度勾配に逆らってどうやって分子を運ぶの？

☆傷ついたDNAをどうやって直すの？

講師

名古屋工業大学大学院工学研究科
生命・応用化学専攻 教授
オプトバイオテクノロジー研究センター長

神取 秀樹

プロフィール

愛知県三好町（現みよし市）生まれ

京都大学理学部卒業
京都大学大学院理学研究科博士課程修了

日本学術振興会特別研究員
分子科学研究所・理化学研究所 博士研究員
京都大学大学院理学研究科 助手・講師
名古屋工業大学大学院工学研究科 助教授・教授

日時

平成30年

4月7日 土

講演／午後2時50分～